



対応電子納品要領

- 〔 1 〕 山形県令和 5 年 4 月版
- 〔 2 〕 三重県機械設備令和 5 年 7 月版



データ集の更新

■様式

- 〔 1 〕 書類作成：茨城県土木営繕令和 3 年 5 月版（修正）
秋田県土木令和 4 年 10 月(修正)
- 〔 1 〕 施工計画書作成：高知県令和 5 年版(追加)

■施工管理基準

- 〔 1 〕 愛知県建設部令和 5 年 4 月版(追加)
- 〔 2 〕 愛知県農林基盤局令和 5 年 4 月版農地関係(追加)
- 〔 3 〕 愛知県農林基盤局令和 5 年 4 月版林務関係(追加)
- 〔 4 〕 兵庫県県土整備部令和 4 年 10 月版(追加)
- 〔 5 〕 熊本県農林水産部令和 5 年 4 月版森林土木(追加)
- 〔 6 〕 大分県土木建築部令和 5 年 4 月版(追加)



シリーズ全体

- 〔 1 〕 一部電子納品基準で、発注者コードの修正。
農林水産省 H31（土木・電気・機械）
- 〔 2 〕 一部電子納品基準で、住所コードと境界座標の組み合わせによる判定の修正。
農林水産省 H31（土木・電気・機械）
- 〔 3 〕 一部電子納品基準で、DTD ファイルの更新に対応。
国土交通省 R0403・北海道開発局 R0405
国土交通省電気通信 R0403・国土交通省電気通信 R0503・国土交通省機械設備 R0403



写真管理

- 〔 1 〕 写真バックアップ：指定したバックアップ先に日付フォルダを作成してバックアップするように変更。
- 〔 2 〕 固定印刷：写真編集－写真選択画面に mp4 動画ファイルを表示しないよう修正。
- 〔 3 〕 一覧：SVG ファイルが含まれた工事データで、サムネイル全作成が正常に動作しない場合がある現象を修正。



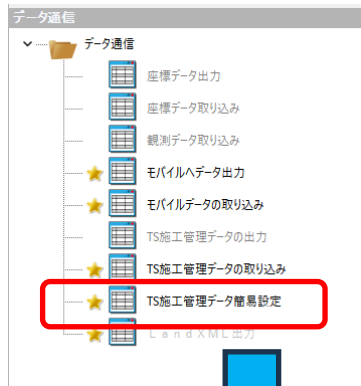
プラットフォーム

- 〔 1 〕 一部電子納品基準で、平面縦断面図の座標を必須に修正。
農林水産省土木 H31 ベース基準
- 〔 2 〕 一部電子納品基準で、工事写真出力で不要な発注図項目を削除。
和歌山県土木 R5
- 〔 3 〕 一部電子納品基準で、台帳管理(REGISTER)施設情報の入力を参照ボタン式に変更。
国土交通省土木/電気通信/機械設備 R04・R05 ベース基準
- 〔 4 〕 一部電子納品基準で、xml 出力時 REGISTER の選択状態後の出力動作が不正。
出力が非選択状態の場合でも、REGIST_M.XML に台帳情報とサブフォルダ情報が書き込まれている現象を修正。
国土交通省機械設備ベース基準
- 〔 5 〕 一部電子納品基準で、不要な xml 記述がされる現象を修正。
国土交通省機械設備 R4/R5 工事写真出力：index に REGISTER が記述される。



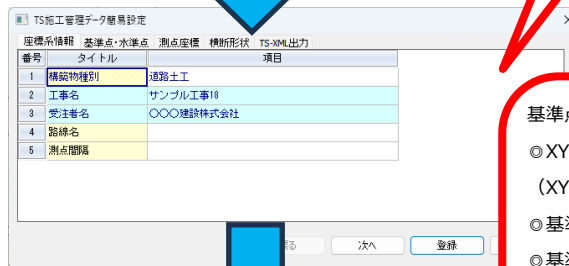
〔 1 〕 TS 施工データ簡易作成機能の追加。

簡易型 ICT 活用工事の一環として、距離の短い簡易的な TS 施工データの作成に特化した機能。



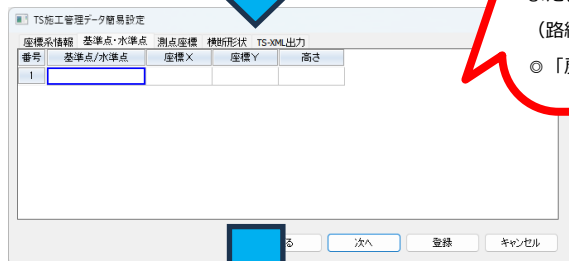
座標系情報入力画面：

- ◎ 「構築物種別」は「道路土工」か「河川海岸砂防土工」を選択。
- ◎ 「工事名」「受注者名」は台帳タイトルより取得。(編集不可)
- ◎ 「路線名」「測点間隔」のみ必須入力。
(※未入力でも画面移動は可能)
- ◎ 「次へ」ボタンで「基準点・水準点」画面に移動。
(※画面上部のタブ操作でも可能)
- ◎ 「登録」ボタンで画面入力内容の保存。
(※土木測量データへの保存ではないことに注意)
- ◎ 「キャンセル」ボタンで「保存せずに終了」。



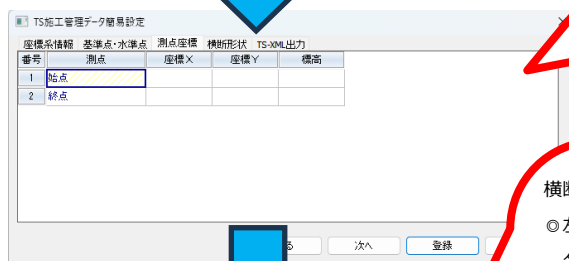
基準点・水準点入力画面：

- ◎ XY 座標入力で基準点、高さを入力することで水準点に振り分け。
(XY 座標と高さの両方入力で、基準点と水準点の両方に設定)
 - ◎ 基準点/水準点種類は「4 級基準点」、「4 級水準点」固定。
 - ◎ 基準点・水準点は何件でも入力可能。
- また、未入力でも土木測量への書き出し及び TS 施工管理 XML の出力は可能。
(路線の始点終点座標が基準点水準点に設定されるため)
- ◎ 「戻る」ボタンで前の「座標系情報」画面に移動。



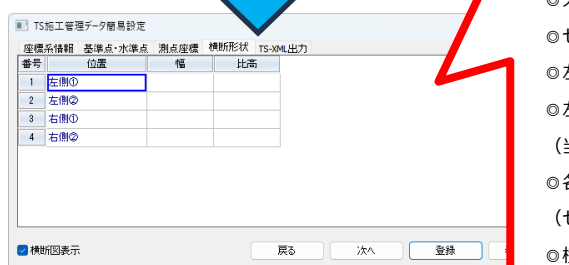
測点座標入力画面：

- ◎ 路線平面線形の始点・終点座標を入力。
(XY 座標で平面線形、標高で縦断線形を自動算出)
- ◎ 始点・終点座標は上記の通り、基準点・水準点にも出力される。
- ◎ 測点の「始点」「終点」は変更不可。カーブ要素等の入力も不可。
プレーキ要素も無し。



横断形状入力画面：

- ◎ 左右 2 点で横断形状を設定。始点と終点で同一形状とするので
各測点毎の入力は無し。
- ◎ 入力は「幅」(水平距離)、「比高」(前構成点との高さの差)のみ。
- ◎ センターは路線センターの座標で算出。(CL 離れオフセット無し)
- ◎ 左①、右①は「道路面」、左②、右②は「法面」となる。
- ◎ 左側のみ、右側のみ、の形状入力可能。また、左②、右②のみ、の入力も可能。
(当然、左①、右①のみも可能)
- ◎ 各構成点の高さの差で「盛土工」か「切削工」かを自動判定。
(センターと左①や右①(道路面)の場合は「盛土工」のみ設定)
- ◎ 横断図表示チェックを入れると横断図が表示される。
(測点座標未入力の場合は表示されない。また、測点座標が入力済みでも
横断形状が未入力だと表示されない。)



TS施工管理データ簡易設定

座標系情報 基準点・水準点 測点座標 横断形状 TS-XML出力

番号	タイトル	項目
1	ファイル名	
2	構築物種別	道路土工
3	工事名	サンプル工事18
4	受注者名	〇〇建設株式会社
5	路線名	
6	測点間隔	
7	状態	始点・終点座標のどちらかが設定されていません。

戻る XML出力

TS施工管理データ簡易設定

座標系情報 基準点・水準点 測点座標 横断形状 TS-XML出力

番号	タイトル	項目
1	ファイル名	test1.XML (E:\Work2\TS出来形\TS出来形\XML\20230...
2	構築物種別	道路土工
3	工事名	サンプル工事18
4	受注者名	〇〇建設株式会社
5	路線名	TEST
6	測点間隔	20
7	状態	※ 基/水準点に始点、終点座標が設定されます。

戻る XML出力 土木測量に反映

TS-XML 出力画面：

- ◎ 「ファイル名」 ボタンで出力する TS 施工管理データ XML ファイルを選択。
- ◎ 「状態」 に出力できない理由を表示。
(※基準点・水準点未入力時は、始点終点座標が設定される旨のメッセージ)
- ◎ 「XML 出力」 ボタン押下で
土木測量に新規タイトル生成～路線縦断横断データ出力～TS 施工管理データ生成～出来形管理対象自動設定～TS 施工管理データ XML 出力を行う。
- ◎ 「土木測量に反映」 ボタン押下では上記プロセスのうち「XML 出力」だけが行われない。
- ◎ 「終了」 ボタン押下で入力内容を保存して処理終了となる。